

# 全国養護教諭連絡協議会 第16回研修会

養護教諭が、学校保健活動を推進していくうえで必要な最新の医学情報を身につけ、保健室経営や、緊急災害時の対応とこころのケアを学ぶことで、専門性のレベルアップを図ることを目的として、平成25年8月1日(木)～3日(土)に、日本青年館に於いて、第16回研修会が開催されました。

8月1日(木)

**講義Ⅰ 「災害時の養護教諭の動きとこころのケアに関する理論」**

**講義Ⅱ 「保健だよりを使った『心理教育の演習』」**

講師 静岡大学 准教授 小林 朋子 先生

## 講義の内容

### ☆自然災害時における養護教諭の活動の進め方

発生前・・・危機管理啓発と防災教育

発生直後から1週間・・・安否確認と避難所の衛生管理

発生1週間から1ヶ月後(学校再開にむけて)・・・心のケア

学校再開から3ヶ月後・・・心のサポート授業の実施

その後・・・PTSDに対する個別指導

### ☆効果的な保健だより

### ☆ストレス反応とリラクセス法

### ☆養護教諭自身に関すること

家族との連絡、職員との連絡

心身の健康管理・・・リラクセス法を身につけよう



## 参加者の声

- \*小林先生の被災地での活動をお聞きして、胸がいっぱいになる場面が多々ありました。
- \*連絡のとり方など、避難訓練の中にも見直す点があると思った。
- \*災害時直後の心のケア、1～2ヶ月後の心のケアなど具体的に知ることができてよかった。
- \*養護教諭の役割として、災害危機における準備を行うよう職員に発信していきたい。それが、子どもたちの命を守り、職員の心を守るとわかった。
- \*被災後の保健だよりは大変難しかった。ほっとする言葉、メッセージ、学校の情報など、書き方を演習できてよかった。
- \*セルフケア体験はその効果にビックリした。
- \*小林先生すてき！元気をもらいました。

8月2日(金)

講義Ⅲ 「保健室経営計画を作ろう」

講義Ⅳ 「解決志向支援会議をしよう」

講師 大阪女子短期大学 准教授 古角 好美 先生

#### 講義Ⅲの内容

- ☆保健室をアクティブに経営する養護教諭  
養護教諭の「資質・能力」の6層構造
- ☆これからの学校保健に求められている養護教諭の役割
- ☆理想の保健室にするための手立
- ☆保健室経営計画を書いてみよう
- ☆探究心の重要性

#### 講義Ⅳの内容

- ☆課題の焦点化
- ☆課題解決に関係する「ひと」「もの」「こと」
- ☆目標のスマールステップ化
- ☆教職員間の連携をうまくとるための7条件



#### 参加者の声

- \*その日暮らしではなく、目標を持って子ども達を見ていく方向へとスイッチを入れ変えようと思いました。
- \*教職員と連携をして学校保健を進めるために、保健室経営計画が必要だということがわかった。
- \*問題点について、目標をあまり高くせず、短いスパンでとりくんでいくこと、スマールステップで解決する方法を学び、ぜひ学校で実践したいと思いました。
- \*KJ法での話し合いをし、まとめていくことは、達成感があり、よかった。
- \*養護教諭の資質・能力の中で「探究心」が重要と知り、心に残りました。やる気が出ました。



8月3日(土)

## 講義V 「小児の頭痛」

講師 筑波学園病院小児科  
東京クリニック小児・思春期頭痛外来  
藤田 光江 先生



### 講義の内容

- ☆子どもの頭痛の種類と診療のガイドライン
- ☆小児外来における頭痛 片頭痛と慢性連日性頭痛
- ☆心に問題がある頭痛の対応
- ☆二次性頭痛を見逃さないために

### 参加者の声

- \*小児の頭痛について、診断基準・問診・観察の仕方など、わかりやすく説明していただき、よかった。来室理由の一番多い訴えは頭痛なので、大変役だつ内容だった。
- \*片頭痛の子どもへの対応のことがよくわかった。保健室休養の1時間ルールの例外について、教職員に伝えて理解を得たい。
- \*慢性的な頭痛から不登校になっている生徒について、具体的な対応方法を学んだ。
- \*小児の頭痛の予防のために、生活習慣を整えることが重要とわかった。

## 講義VI 「子どもの双極性障害について ～臨床家の立場から～」

講師 山形県立鶴岡病院  
院長 神田 秀人 先生



### 講義の内容

- ☆児童相談所との連携で見えてきたこと
- ☆被虐待、加虐待のリスクファクターとしての精神障害
- ☆子どもの双極性障害の診断基準と治療
- ☆福祉・病院・学校の連携

### 参加者の声

- \*子どもの双極性障害について話を聞く機会がなかったので、楽しく学べた。診断基準や薬の利点・副作用など詳しく説明されて、理解しやすかった。
- \*専門的な知識と治療の実際について、事例を示して教えていただき、とても勉強になった。
- \*普段気になる子の背景に、双極性障害などがあるかもしれないと視野が広がった。
- \*精神障害における薬の重要性がわかった。
- \*困難の原因となる人を責めるのではなく、支援する視点を持ちたいと思った。
- \*「精神科医は大人だけでなく子どもも診ないと・・・」とおっしゃる神田先生のお話が心に残った。